

平成30年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名： 学社共同参画セミナーⅡ

期間：平成31年2月15日（金）～2月17日（日） （2泊3日）

対象及び参加人数：学校教育、社会教育の指導者を旨す大学生：8名

目的：

教員等を志す学生に対し、社会教育に関する演習を実施し、事業の企画・運営・評価を実践的に学ぶ機会を提供する。

事業概要：

- ・ 妙高の特色である森・山を活用した自然体験活動を体験し、その基礎技術や指導技術を取得できるようにするとともに、社会教育事業としての企画・運営・評価を学べるようにする。特に、体験による学びの手法を中心に演習し、事業推進の観点を重視し実施する。
- ・ 国立妙高青少年自然の家の活動プログラムを活用し、冬季の雪上活動をとおして自然環境について体感することができるようにする。
- ・ 野外活動等における安全管理について学ぶ。

成果：

スノーシューハイク、雪中泊を体験することで、実体験をもとにした事業における企画・運営・評価を学ぶことができた。

マネージメントの観点からグループワークを実施した。互いの意見を出し合いながら、立案やマネージメントをすることで1人1人の参加者の考えを広げる場を提供できた。

妙高青少年自然の家のフィールドを活用し、自然体験活動の基礎技術や指導技術の習得の場を提供できた。



課題：

参加者数が減少傾向にある。今後の教育を担う大学生に様々な体験の場を提供できるように、来年度以降も参加者の確保に努めていきたい。大学生だけでなく、社会教育にニーズがあると考えられる大学院生、専門学校生など、広報の対象を広げたり、内容が伝わりやすくなるように広報の仕方を見直したりしていく必要がある。

また、より多くの学生が参加しやすくなるように、学生へのサポートの仕方について改善を図っていく。